

「香川・アサヒビールの森」で、森づくり活動を開始

「フォレストマッチング 協働の森づくり」協定を結んだ「香川・アサヒビールの森」で、去る10月18日（土）、アサヒビールグループの社員とその家族の皆さん40人が、第1回目の森づくり活動を行いました。塩江温泉観光協会、NPO しおのえの地元ボランティア10人の協力も得ました。

当日は秋晴れの爽やかな青空が広がり、森づくり活動に最適の天候となりました。

参加者は、来春予定されている広葉樹の植林に向けて、慣れないノコギリを使い、汗だくになりながら、広がった竹林を力を合わせて伐採しました。2時間ほどの活動で、うっそうとした竹林がみるみるうちに切り倒され、視界が広がりました。

ほとんど参加者が初めての体験だったようですが、竹がどんどん切り倒されていくことが面白く、いい汗をかいたと満足そうでした。また、竹林が周辺の森林に広がり、樹木を枯らしたり、根が浅いため、保水力の低下や土砂崩壊のおそれがあるなど、竹林整備の必要性についての意見も多く出ていました。



＜竹を伐採するアサヒビールグループの皆さん＞



＜のこギリを使い、親子で伐採に挑戦＞



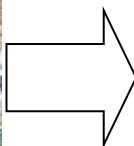
＜長い竹を運ぶ子どもたち＞



＜率先して竹を切る古田土本部長＞



＜作業前：拡大した竹林＞



＜作業後：伐採後の竹林＞

アサヒビール(株)四国統括本部は、今年から3年間かけて竹林整備を行い、広葉樹を植林する予定です。